

令和2年6月30日開閉会

令和2年度第1回  
昭和村総合教育会議 議事録

昭和村教育委員会

令和2年度第1回昭和村総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和2年6月30日(火)  
午後2時00分から午後4時21分
2. 場 所 昭和村公民館2階 研修室
3. 出席委員 舟 木 幸 一 村長  
安 藤 哲 朗 教育長  
齊 藤 加津代 教育委員(教育長職務代理者)  
本 名 敬 教育委員  
栗 城 照 美 教育委員  
五十嵐 麻裕子 教育委員
4. 事務局 星 博 之 教育次長  
渡 辺 智 子 主査
5. 議 題  
(1) 令和2年度教育費関係予算について  
(2) 教育行政について

6. 会議概要

教育次長 ただ今から令和2年度第1回昭和村総合教育会議を開会いたします。  
開会にあたり村長より挨拶を申し上げます。

村 長 あいさつ

教育次長 続きまして教育長より挨拶を申し上げます。

教 育 長 あいさつ

教育次長 協議事項に入る前にみなさまにお断りをいたしておきますが、この会議は原則公開となり、議事録も後ほどホームページに掲載されます。なお、プライバシーに関することなどで公開すべきでないものについては、非公開とすることができます。  
それでは、会議の議長を村長にお願いしまして、議事を進めてまいりたいと思います。

村 長 それでは暫時、議長を務めさせていただきます。  
協議事項に入らせていただきます。  
(1) 令和2年度教育費関係予算について、事務局の説明を求めます。

教育次長 (令和2年度予算の主な事務事業費の執行状況を説明し、併せて令和2年度予算の概要について説明した。)

村 長 ただ今の説明について、質問はございませんか。

村 長 議長の立場ですが、小学校の修繕についてももう少し詳しく説明してください。

教育次長 電話機の故障と、パソコン室のエアコン故障で補正している。

本名委員 ICTの部分、コロナの第2波が来るとか来ないとか、そうなった場合に、タブレットを使ってもらった方がいいが、ハード面で手当てしても、先生が対応できるのか、また、家庭でできるのか、小中学校でかぶっている時どうするのか、春になって異動したらどうするのか。対応する人によって変わってしまっは困るので、安定的にやれる仕組みを考えた方が良い。

村 長 ICTは国が推進している。環境整備だけではなく、スキルアップも必要で、ここまでやるべき。ただ、人によって得意、不得意はあるので、教育長の腕の見せ所か。

本名委員 今年度は人を揃えてもらったから感謝申し上げたい。養護教諭についてもしかり。

栗城委員 タブレットは、子供の方が使えると思う。

五十嵐委員 家庭での使い方の問題も。

村 長 議会で西会津のケーブルテレビみたいな提案もあったが、財政的に厳しい。

教育長 ランニングコストが非常に多くかかるので、辞めたいと言っている市町村もあるようだ。

村 長 では意義なしでよろしいか。  
(なしの声あり)

村 長 次の協議事項に移ります。(2)教育行政について、事務局の説明を求めます。

教育長 昭和村教育大綱については、大筋は変えずに作成した。基本方針は、村の財産となるような人を育てたい、というのが大きい。村の子供達は自己肯定感が低く、将来、村を出た時に自信を持って生きていける人になってもらいたいので、人間力の育成に努めたい。また、教員の確保、資質向上に努め、村講師はこちらでの人選・雇用になるので、徐々に良い先生に来ていただききたい。1人あたりにかける教育費は、都会に比べるととても高いと思うので、そのメリットを活用したい。例えば、理科教材も1人に1台使用できる。保育所から人材を育てられるので、一体となった教育を目指したい。オンラインもいいが、生身の人間とのぶつかり合いも必要。自然体験など。東大生でも、勉強だけしてきた子より、自然体験をしてきた子の方が人間性や対人関係だけでなく、研究面でも成果を上げていると報告されている。昭和のよさ、ふるさとのよさ、会津のよさを感じてもらいたい。

村 長 この計画は以前にも配布しているのか？

教育長 配布しています。基本計画については、第5次昭和村振興計画をできるだけそのまま載せ、「個性と長所を伸ばし、郷土学習を推進」という点を追加した。最大限の効果をねらい、それも一貫教育に結びついていくと思う。計画についてもあまり大きく変更せずに、思いは別紙に書いた。

村 長 教育行政というのは？これを踏まえた意見をもらうという事でよろしいか？

教育長 はい。では小中一貫教育について資料に沿ってご説明いたします。(説明)少人数でのクラスにはメリットとデメリットがあります。また、複式学級の弊害として、様々な先生にふれる機会が減ってしまいます。そして、村を出て就職してから、不適應を起こす事例があります。また、SNS への依存も心配され、学校教育にかかる比重が大きくなります。

まずメリットとしては、一貫教育を実施すると、校長が一人になる分、教諭を一人配置することができます。また、中1ギャップも解消されます。学校の小規模化や核家族化が進む中、一貫教育であれば人間関係の幅が広がり、小中互いの先生定数の不足を補い合えます。また PTA を一本化でき、保護者の負担軽減にも繋がり、地域のカルチャーセンターとしての役割も期待できます。小学生は中学生に憧れを持ち、中学生は小学生に対して手本となるよう心がけ、小さい子へのいたわりの心を持って接することができます。

次にデメリットとしては、施設の改修が必要になります。また、6年生が最高学年としての自覚を得られません。一貫校とはいえ、小学校と中学校の2つの学校を経営する校長先生の負担は大きくなります。

現在いる教員には話をして、賛同を得ています。保護者から賛同を得られれば、議会にもかけたいと考えています。実際には研修を行い、実行委員会を組織して進めます。去年は檜枝岐村、伊達市を視察しました。一貫校ではありませんが、ICT の推進先進地として、7月に西会津町に行く予定です。他にも、義務教育学校なので少し違いますが、秋に飯舘村に行く予定です。

村 長 義務教育学校が有益ではないかと思っている。同じメンバーでいくなら、昭和独自のカリキュラムもありだと思う。

ここにあるメリット・デメリットの他に、小学校・中学校の先生が両方の免許を持っているので、質の高い教育ができるのではないか。

以前に一貫教育の話が出た時は、学校や保護者から大反対を受けたので、今回進めるのであれば、民主的に進めた方がいい。

教育長 義務教育学校は、年度を区切ったりカリキュラムを変更できたりするが、デメリットとしては、転校した際に教育課程が上手くつながらない問題があります。小中両方の免許を持っている先生は少なく、小学校には中学校免許を持っている人もいるが、中学校では小学校免許を持っている先生が少ない。教員養成系大学であれば両方の免許を取ることが可能だが。

本名委員 義務教育学校は、この辺りにありますか？

教育長 飯舘村にあります。

村 長 前期・後期課程？

教育長 色んな言い方があります。

本名委員 小学生は中学生の大会に参加できますか？

教育長 部活には参加できますが、大会には出られません。義務教育学校は1つの学校で校旗も1つ、校歌も1つ。有名な作曲家に依頼するケースもあります。

本名委員 一貫教育を進めるにあたり、前回のような失敗はしないように、とは言っている。私も前は保護者だったので、批判した立場。皆、良いと分かっているけども反対したり。

五十嵐委員 PTAの中から視察に行きたい人もいると思う。実際に見るのも大事だし、見ないとイメージが湧かない。保護者の意見を聞いてみては？言いたいことはあると思う。

村 長 時間をかけるのは大事。色々なやり方がある。郷土学習、花育もそうだが、地域を愛する事が重要。9年間にカリキュラムを組み込めば、先生も長いスパンの中でやりやすいところを取り組める。

本名委員 先生方にはどういう印象ですか？

教育長 一般には、中学校教員は賛成しないケースが多い。余力がある分を小学校にまわすことになるから。檜枝岐村でも当初は反発があったと聞いている。

村 長 今も、中学校の先生が小学校に教えに行っているのでは？

教育長 今年は中学校の先生が減らされ、なかなか難しい。小学校に村雇用講師を1名追加できたので、頻繁には行っていない。

村 長 ペーパーだけではよくわからない。現場を見た方が良い。

教育長 小・中学校はお互いにわからない事が多いが、一緒になればやっていけるはず。学校が1つになると、ガラッと雰囲気が変わると思う。

本名委員 メンバーによっては変わりそう。人による。

教育長 人数が少ないので、先生1人1人の影響が大きい。メンバーを選んで良い先生に来てもらう必要がある。教育事務所をお願いしていくしかない。

齊藤委員 人事について、継続できるようにお願いしたい。

本名委員 昭和モデルが確立すれば、そういう情報がまわって、先生もやりやすくなるのでは？

齊藤委員 方向性を示してもらわないと。

村 長 都市部の中高一貫は大学に行くためのもの。高2までに全て終わらせて、高3は受験勉強をする。それと小中一貫は違う。進学率も学力向上にも繋がると思うし、色々な選択肢が選べるようになる。人財は村の宝。

栗城委員 村に戻ってきたときに働く場所が欲しい。選択肢がない。

教育長 今はリモートなどで地方でも働ける。創造力が大事。昭和村は人が不足しているが、そういうのがあれば人は増えるのでは？自分で仕事を創れる。

村 長 そういう力があれば何でもできる。理想と言えば理想。

教育長 義務教育学校か小中一貫校か、村長の思いを聞かせてください。

村長 最初に頭にあったのは義務教育学校だが、檜枝岐村の一貫教育校もあると言われたので、勉強が必要か。

教育長 いきなり義務教育学校にするのは難しいので、まず小中一貫校にして、その後に義務教育学校という流れがいいのでは？今のところは義務教育学校にするメリットは少なく、体力も必要になるので。

村長 教育委員会でプログラムを作る必要があるが、教育委員会自体も質の向上とバージョンアップが必要で、この体制によって運営できるかどうかが決まる。やはり指導主事が配置されないと難しいように感じる。

教育長 いいと思うが大変なので、どこかで誰かがやらないといけない。これからは必要になってくると思う。

村長 管理する分には今の方がいいが、子供達の未来を考えた時に、というのが、一貫教育の考えのスタート。

本名委員 機会としては今しかないはずだから、逃さずにやってもらいたい。

齊藤委員 そう思う。

本名委員 当時はトップダウン的なものもあり、上から目線な意見だったので、そうならないように。文言の中に、教育委員だけでなく、保護者も入れるべき。進め方がわかっているけど、イメージが湧かない。

栗城委員 生徒の立場でどう思っているのか？

五十嵐委員 保護者会でその話になったが、わからないから比較できない。変えていかなければならない、とは思っている。

齊藤委員 実際に見てみないとわからないと思う。

栗城委員 (同意)

五十嵐委員 子供は今のままの方がいいと思っている。変えるのが大変だし面倒だと。

教育長 後々、「昭和村の学校に入りたい」となればいいなと思う。

村長 以前に山村留学を見に行ったりしたが、今ひとつだった。一時期、検討した経緯があった。

教育長 魅力ある学校になったらいいなと思う。自然の中で色々な活動をして、都合じゃ体験できない事をやらせたい。

五十嵐委員 村の魅力を伝えられる大人が減っている。お母さん方も忙しくなって。

教育長 その通り。五十嵐委員が子どもと田んぼで遊んでいて、素敵だなと思った。

齊藤委員 地域おこし協力隊や織姫もそうだから、それが魅力なのかも。

村 長 この件はじっくりと確実にステップアップできるように計画しましょう。

栗城委員 教育委員会など、やる方は大変。

本名委員 皆さんの体力のあるうちに。

本名委員 話は変わって、前回の会議録が載っていないようだ。速やかに公開となっているので、昨年の方とはいえ、公開した方がいいと思う。自分の話したこととか、どう書かれているのか確認したい。なるべく皆さんも教育委員会の分はチェックした方がいいと思います。ステイホーム中で、みんなホームページを見ている。ホームページがリニューアルされるようだが、それはそれであって更新はすべき。法律とか堅い所よりも、写真とか絵とか更新した方がいいと思う。

教育次長 掲載確認漏れです。申し訳ない。

村 長 ホームページはリニューアル予定。情報発信は大事。

本名委員 ホームページの仕組みについて。簡単にアクセスして書き換えるのは簡単。ちゃんとしたところはともかく、日々のところは職員が何人かでフリーに更新できるようにした方がいいのでは？ やりやすい方法でやってもらえるようにした方がいいと思う。

教育次長 ホームページに出す以上はオフィシャルになってしまうので、校閲も必要。

一 同 更新されていないと見なくなってしまう。

齊藤委員 更新していると頑張ってるなと思う。できる部分はやってもらいたい。無理はしないで、継続可能な方法で。

教育 長 ホームページを毎日更新したり、記事を発信できたらいいなと思う。ただ、オフィシャルなので慎重に。

村 長 ホームページは公民館が視聴覚教育の一環で始めた。広報ということで所管替えになった。金山町は業者委託で観光情報を載せている。

本名委員 話を改めて、先日、学芸員が後ろの稲荷様を見に来た。稲荷様は隣に青芋神社があるが、藪になっていて、他人の土地だし手が付けられない。なんとかならないのかなと。なぜ2つ並んでいるのか、仕事になったからか。

村 長 文化財に指定すれば管理のお願いはできる。

本名委員 唯一のっていうのも前に聞いたことがある。

齊藤委員 そういうところも是非。文化財は後回しになりがちだから。今聞かないとっていうのは感じる。危機感。人がいなくなったら聞けない。芋だけじゃなくて、せっかく学芸員もいるわけだし。

村 長 学芸員は古文書が読めるから。今のところ指定されているものはない。今年は企画展を2つやる予定だった。5町村の事業でアーカイブを作成する予定。

村 長 他に何かありますか？

栗城委員 自己肯定感を持っている子供が少ない。持てる教育とは？

教育長 具体的に？

五十嵐委員 私が聞かれた訳ではないが、祖父母との関わりが減っているのでは？褒められたりする機会が少ない。どうすればいいかは分からないが。以前、杉の子会が児童クラブに来てくれた事があり、子供達を褒めてくれてとても良かった。

教育長 否定されてばかりいるとダメになってしまう。そう思ってしまう。色々な角度で色んな人に見てもらいたい。ただ、褒められすぎると抵抗力のある子に育たないので、そのバランスが大事。

齊藤委員 子供の性格の基礎が出来るのは4・5歳と言われているから、保育所が大事。小中一貫だけど、そこも巻き込めたら早い段階から、早期教育ができる。一貫した流れがあると、魅力的な村になると思う。

村 長 保育所の充実をはかりたいと考えている。本当は教育長に保育所長もやってもらいたかったが、なかなか難しい。ただ、色々訪れてもらうようにはお願いしている。

教育長 保育の関心は高い。小さいうちにとというのが大事。市町村によっては教育委員会所管のところもある。

村 長 やれとは言っていない。力を貸してもらいたい。総合行政。所管は保健福祉課でいいと思う。近隣、例えば金山町との交流とか。

教育長 かなりオープンにはなってきている。教育委員会主催の講演「お話し会」に、保育所の先生が参加してくれたり。

教育次長 学校の先生は児童しか見ないが、生まれてからどう、子供を切れ目のない環境で見たいか、保健福祉課と検討しているところ。

村 長 理想はあるが、実現はなかなか難しい。一步一步。

齊藤委員 意識してもらえるだけでも良いと思う。意識するのとししないのとでは大違い。今の仕事に合わせてやってもらえるのはありがたい。

村 長 今は皆忙しくて係長会議が開けていないが、横の繋がりを大事にしていきたい。

村 長 では、提案は異議無しでよろしいか。  
(なしの声あり)

村 長 以上で協議事項は終わりましたので議長の職を解かせていただきます。  
ありがとうございました。

教育次長 その他について何かご意見等ございませんか。  
(なしの声あり)

教育次長 それでは本日は長時間にわたりありがとうございました。  
以上で会議を閉会いたします。